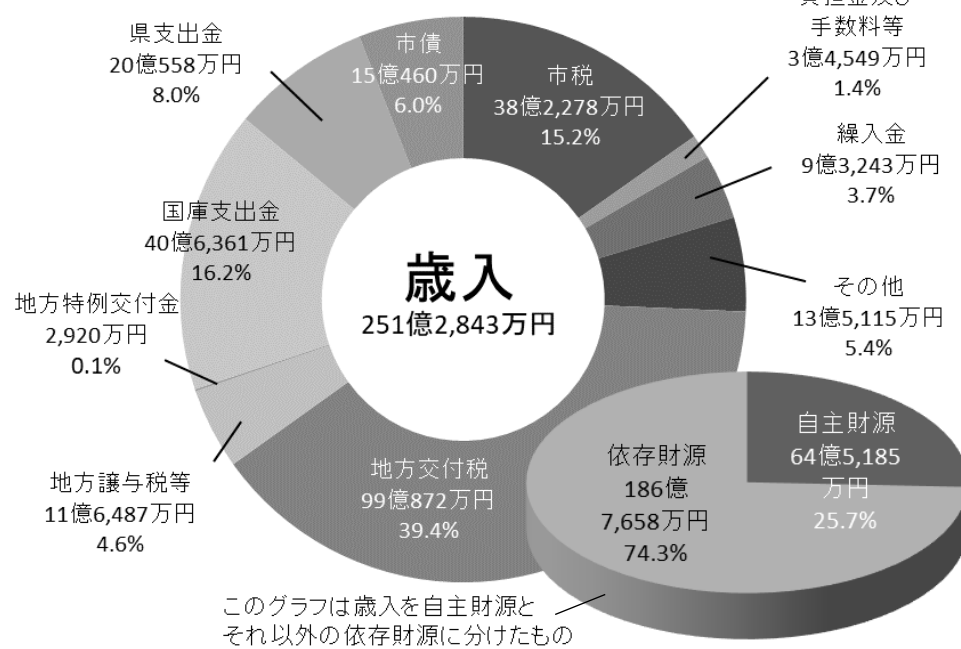


令和5年度

決算報告

問財政課 (☎0854 - 83 - 8017)

一般会計 歳入・歳出グラフ



一般・特別会計の概要

【一般会計・歳入】

予算現額 262 億 1,047 万円に対して、調定額 258 億 411 万円、収入済額は 251 億 2,843 万円、不納欠損額 2,267 万円、収入未済額 6 億 5,301 万円の決算となっており、収入率は予算比 95.9%、調定比 97.4%となっています。

【一般会計・歳出】

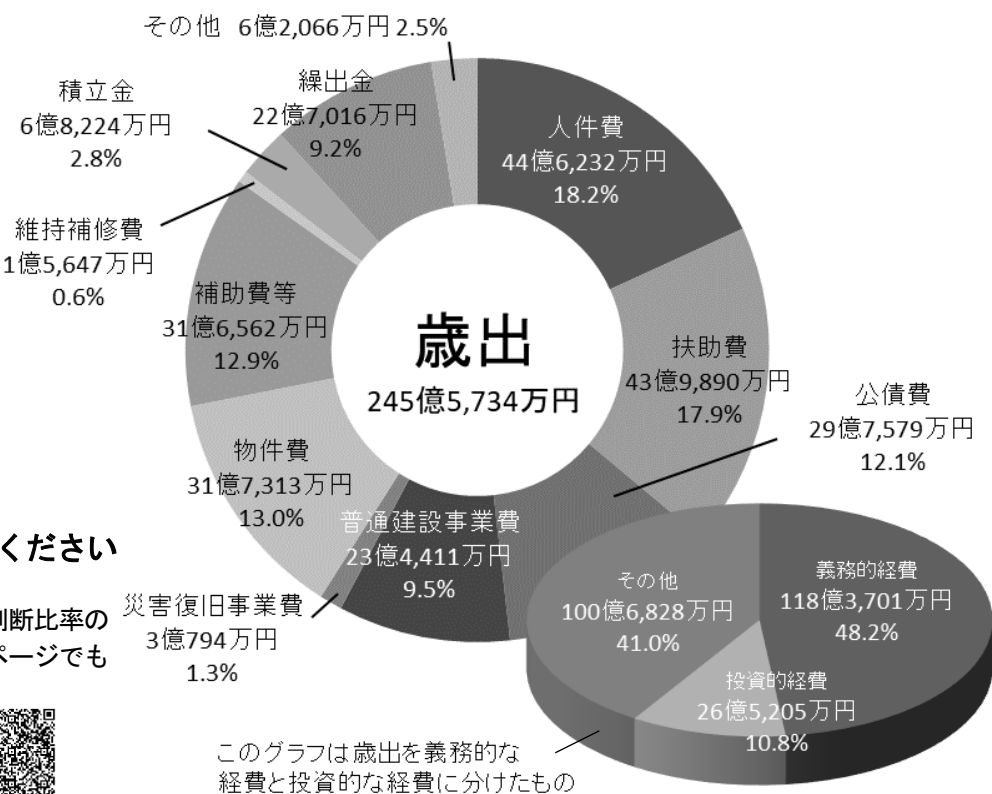
支出済額 245 億 5,734 万円、執行率 93.7%となり、翌年度繰越額 7 億 7,926 万円を差し引いた不用額は 8 億 7,387 万円となっています。

【特別会計】

8ある会計の歳入総額 127 億 8,022 万円、歳出総額 124 億 7,159 万円で実質収支額は、3 億 327 万円の黒字となりました。

【市債残高】

一般会計における令和5年度末の市債残高は、前年度末より 13 億 5,655 万円減少しています。特別会計分を合わせた市債残高は、前年度末より 7 億 6,780 万円減少し、316 億 1,546 万円となりました。



ホームページをご覧ください

財政状況、財政健全化判断比率の詳細は、市公式ホームページでも公開しています。

市ホームページ



決算の状況

		歳入	歳出	差し引き	市債残高	基金残高	
一般会計		251 億 2,843	245 億 5,734	5 億 7,109	296 億 5,962	54 億 5,227	
特別会計	国民健康保険事業	41 億 6,457	41 億 649	5,808	0	2 億 1,845	
	国民健康保険診療所事業	3,922	3,922	0	1,640	883	
	後期高齢者医療事業	12 億 3,842	12 億 2,785	1,057	0	0	
	介護保険事業	60 億 6,665	59 億 1,359	1 億 5,306	0	2 億 5,362	
	生活排水処理事業	2 億 3,563	1 億 5,896	7,667	7 億 1,056	1 億 1,124	
	簡易給水施設事業	2,212	2,212	0	0	0	
	農業集落排水事業	7,223	6,734	489	1 億 6,588	0	
特別会計合計		127 億 8,022	124 億 7,159	3 億 863	19 億 5,584	5 億 9,214	
企業会計	病院事業	収益的収支 (税抜)	51 億 5,148	60 億 1,477	△8 億 6,329	119 億 8,932	0
		資本的収支 (税込)	3 億 1,174	4 億 6,978	△1 億 5,804		
	水道事業	収益的収支 (税抜)	10 億 6,955	10 億 9,505	△2,550	47 億 8,745	8,396
		資本的収支 (税込)	7 億 7,112	11 億 5,958	△3 億 8,846		
	下水道事業	収益的収支 (税抜)	6 億 3,642	6 億 4,823	△1,181	73 億 3,653	1 億 8,268
		資本的収支 (税込)	10 億 8,933	13 億 7,128	△2 億 8,195		

健全化判断比率

——すべての指標が健全化基準を下回っています

平成 19 年 6 月、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行されました。地方公共団体は、4つの指標である「健全化判断比率」、公営企業の経営の健全化を判断する指標である「資金不足比率」を公表することが義務付けられました。

各比率は次のとおりで、監査委員の審査を受け、9月市議会に報告しました。

早期健全化基準、財政再生基準、経営健全化基準を超えると……それぞれに対応した計画を作成し、総務大臣などに報告、自主的または国・県の関与のもとに財政健全化をおこなうことになります。

■実質赤字比率

普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模^{※1}に対する比率で、普通会計の赤字の程度を示しています。

早期健全化基準…12.93%
財政再生基準…20.00%

大田市 —%^{※2}
(赤字、資金不足なし)

■実質公債費比率

普通会計が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、市の借金の返済額の大きさの程度を示しています。

早期健全化基準…25.00%
財政再生基準…35.00%

大田市 10.8%

■将来負担比率

普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、市が将来支払っていく負担額の大きさの程度を示しています。

早期健全化基準…350.00%

大田市 65.5%

■連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率で、市全体の赤字の程度を示しています。

早期健全化基準…17.93%
財政再生基準…30.00%

大田市 —%^{※2}
(赤字、資金不足なし)

■資金不足比率

公営企業における資金不足額の事業の規模に対する比率で、事業規模である料金収入に対する資金不足の程度を示しています。

経営健全化基準…20.00%

大田市 —%^{※2}
(赤字、資金不足なし)

大田市はどの指標においても早期健全化（経営健全化）基準内であり、財政状況は健全であるといえます。しかし、今後の財政運営は、物価高騰や老朽化している公共施設への対応が必要となってきます。今後とも、これらの指標を参考にしながら健全な財政運営に努めていきます。

※1 地方公共団体の標準的な状態で通常収入があるであろう経常的一般財源の規模を示すものです。
※2 赤字、資金の不足が生じておらず、比率が算定されないため、「—」表示となります。